明星抄

第六

二

彰考館
有朋堂圖書

内閣文庫

清水
書庫

幕末

源氏十六家のうち相模守はそもそもよ
十二家のうちのはつかうとかやんく
しかつ但馬守とのの奥よりおしるしにかのひ
てはいとかたくなくさはやかなるこゝろ
ばせをもてしたがひ奉り(スリ)(ヒキ)
のみとはいひながらたゞ一人をもて
の年のうちの長ちんけ三位文
まことのこゝろの事は海幕一本のみよりこと
での事のうちにあくまでもあるべきなれば幕
本とこゝろにあるべしてこそ源氏一統のうち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大概乃也

第一ようく[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中務の親

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一合する人の数
[illegible]
下ふと上ふと同和する
[illegible]
上ふの人[illegible]
下ふの人[illegible]
[illegible]
上ふの人[illegible]
[illegible]
[illegible]

てをりの海るんぐばこのふら刹ーが
ふたと四ぢめ
たのるんこ　じは四条ん弓ーよじあん
条や
いとやめるこ　えいあ張北者ん親
るるこのかもてこも　たこ伏んもや
第ん三のふ伏浮（ヒャウズル）こ当時まるまの海ろ人
といもるこ海日今日ふこんさーも
るえ人こやこふこと脱ふ昇金まこ
めぐまこえおこもこへこまもめこすも
さまこのへと　さまこもふところあろ

とこ推（ミツ）えげ如（ムメ）者海伯ん者ふまこ
ひるまら
みるおこ海んるのるこ　えい種雑ふこ
人ん名義（ヲトヒ）彩（ニヲ）こ来摘ふあこ海るこ
第ふこ琴ふるあ引伯ひーまぶ伏こと
て来摘伏こ海こ者ふこ力のこ者ふ
ひこるこ海ふ中ふるへ
こるやこのこのこ　新ぐこの義ん者
第のる伏人こ海ふこ者ふこのるこ
任（ニン）四ー年ぶ海ふ海ふこさて人ん四
ん変ーふこ海ふるて参（サン）彩（ケン）の弓ー

中ごろの程なるうち更勢と聞こえ給へ
きしうの　けうの
えうをいづくさはひ　常陸介の奇
ぜをうけ給へ
まうくうかんらめ　中納言兼孫
らいの人なるまうくといまうまれ
ふこ物くえいまうる人
北条殿　兼孫ゆゑて之位ぞ位に
ふ人まう
ものの様し　ゆゑ入るよけへ
いまうまう　さうやうまう

ゆゑ入るよけへ
ものうちと　行ものも有ぜと
さまゆゑまうくうまう　ゆゑ
上乃北条殿
文治元年
南無
まうくうまうさうし　源乃朝臣
北条殿　家
ゆゑ入るぞ
有りて乃朝や
まう人乃いまう

桐壺乃女房
源乃朝臣
ものうちよ
中ゐの朝臣源氏

[illegible]

合うたる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゝそとがいてゝ友ぢうげ妹(イモウト)の歌ゝ

源氏乃ゝの中ゝ養ゝ上ゝ

又ゝ乃ゝ大臣母ゝ左門乃ゝ妹ゝ母ゝ上ゝ

ゝゝ上乃ゝ母ゝ

ゝゝ乃ゝ母ゝ

ゝゝ乃ゝ母ゝ

ゝゝ

乃かうめたるうへにうすきゆきのしろくみえたるを人
うたうとゝ侍るゆへ

さゝなみ　　さゝなみ

乃万(バン)樹(キ)の波にあをくみえたるを雪にうつりてしろくみえたる
なるべしとこゝろうへたるなるべし

さゝなみのうへにうすきゆきのしろくみえたるを
らまつのうへにふるゆきとをなしくみたるなるべし
なをしかるべきもの歟

せゝらぎ

乃中に人(ニヒ)独(ヒト)なる
乃ゝしひとして優(ユウ)なるをまことに人
なるべしいとゝ侍るべし

さゝなみのうへにうすきゆきのしろくみえたるを
ゆきのうへにおなじくしろくみえたるなるべし

とまり　　花ゝ

とまりのはゝよりはなをそへたるなるべし
はゝよりおもはゝよりこゝろをそへたるなるべし

あるゝ

あるゝ(ナヒ)ものゝ(ノ)ものゝ(ノ)ふるまひをいふなるべし

さゝなみ　　ねぢさうのもと

さゝなみのうへにねぢさうのもとにいひたるなるべし
ねぢさうのもとにゝ家樹(ジュ)門(モン)題

やとせんとせしかばせんとせしまあ
ちまちこゝのちがつゝさゝへよとそこ
紙やさあわとそこゝとまこゝろまと
まつ巻中のさ海苔ありしひ
仮撰為ゆ
もやこゝへかもしあるこゝのふまつを
まもしゆ紙ゝ河狩
あつめよさてもあつまるへさ　大まつ和
まさんまつあつめ十分まつ須
大まあものこゝろ
まそしこゝさんつまさひ　ありがちす

さゝこゝこゝふまつ稚ゝふよけや
もあとあつまめこゝちがこゝそこ
天狗の縁ゆ仕せこゝ
かつこゝもこゝもこゝふまつひと　かこん
よけまつ和ゝもゝ稚がこゝ男ゝちや
ゆ紙男安ゝ上ゝこゝ
変まこゝ仕稚ゝ紙ゝ
こゝ稚とかつまこゝのあ
ようあつまがこゝ海紙　海な
とこゝこゝこゝ但こゝ
とこゝこゝこゝ紙ゝこゝ
とこゝこゝ

源平や中将殺さん　花ちる春を
惜しむ人の世にあるうきぶしや
春をくれぬとひとへなるらん　花ちる春を
くいひ残さんとぶらへばねうせぬ
ちぶんぐ世をうるせぐうきぶしにうやう
ぶんとうきく御ちぶ春を惜しむとなせば
きんぶんとらしいかぶ分とうぶ残ってく
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てかるけきこゑもとゞこゑまさるこゑれるこゑひ
おけきこゑこゑやゝ
みまめくこゑこゑとこゑめてく　こゑい
あまりよこゑまさる船人のこゑこゑをを
しめてくこゑかをけこゑこゑをはぎこゑ
こゑかるま
見こゑこゑこゑこゑこゑよ　鬢の髮をあよ
こゑこゑひこゑこゑれはくこゑこゑこゑこゑこゑこゑこゑこゑこゑ
ほせこゑこゑかをはやゝ
ひこゑこゑこゑこゑこゑこゑこゑこゑこゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ふるさとに死るよりまさるせちなし　平忠

雪ちを　俳人やしん

あちめやうにまつのうら　蓼こ　ばせを　蓼こ　分人

やうしてはるる云へ

あまうまとのゆへ　ふとせ　ゆへ　ゐ　ゐ

うしあるこ

う浦屋とくのとき　蓼こ　よあ

きち

えんよあちこちして　えこて伊勢物語の

出くいるおどふ浦ゐといひやせんの音

うこ女の歌へ

ほいふへこるものを　匿ふ安ふ人とこ

うふと

とこ浦ほまこるこ　さほほこ　り安乃

とこるやの歌や

こ　る以ほ時　る以ほ時　浦ち

さきうへこる女の　まとまこ　まとまこ　る女

ゐとこて　ほこ　ゐとこ　と今こへ　結

句ほ浦ゐ　よまこ　よこ

ふふこやるや浦めこてこ　古今よ歌

とこ　こ　こ　こ

未男ゆきあひてよめる

引き網ひとつとるわ
ふるさとにつんどをとるとてあるを
蓮の濁りあるに濁りにしまれぬ
世にいと離くくるかなとあるを
濁りにしまれぬ蓮葉の濁りにしまれ
ゆくふるくるの引きの意歌

あるしのもとにさくら
でにけりとてとしをとも兵衛にあるを
あるもんもうしあめくく　伊勢記張りを
ふるんとちくふるひのくるみ

類や

よるのめのよるのくるふ　ちはやぶるとよるのくる
ろふるくるやうあるん男とどし女しひ
やくく

ふるくるのくるあるけ　男のくるの
まあるやくもあるとそあ　数のくるとしひ
ちあり怪異とくさるの
さやうあるんあるくるを　怪異せぬ人を
やくるの河中にあるくとを
あるくるにあんとくを　あんどくをを
あんど怪しどをるを尚よ怪しるもるの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひらき　ゐる人の羽紙義(ハウツ)なくよ泊ゐる
ゐゐ動ゐ
ゐ後の人事よりそへくく　ゐ紙の相
ゐゐ義ゐく人人ゐとゐとゐしゐくく
ゐくくゐてゐゐゐゐくくくくく
ゐゐ事人の道紙ゐ紙紙ゐ紙ゐ方人
道紙中ゐよゐくゐせんゐく浪(ロイタク)ゐゐもく
芝ゐゐゐもゐくでゐけゐくきゐく
ゐくゐのゐゐれゐくゐ　ゐれて多(サタ)ゐんよ
てゐれゐゐびゐゐゐくくゐんよゐゐくゐんゐ
戰(ヲクラ)ゐゐゐよ人ゐくゐくゐくくくゐ

おゐゐゐゐ
大事ゐとして
人ゐゐゐ事ゐ人の中(ホン)藝(タイ)ゐ家ゐ紙
叶ゐゐ義ゐ者ゐ紙ゐゐゐゐゐゐゐ人ゐ
又紙ゐよゐゐ　ゐゐゐ紙ゐゐゐゐゐ
ゐ(ヒヨウ)ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
動ゐゐく大事ゐ
清ゐく　ゐゐ人ゐよゐゐべて人ゐゐ
ゐゐゐの人ゐゐ海のいゐゐ魚人ゐゐ
ゐ(ヒ)ゐゐ紙人ゐゐ(ヒツ)
ゐゐゐゐ

海 鐸る弦引 波濤冥陽 [illegible]
蚤土高峯不る而 [illegible] 鬼魅 [illegible] 雖 [illegible]
而 [illegible] 偏不 [illegible] 也 [illegible] 泪 [illegible]

ふさしめて
[illegible]
山人 [illegible] 海漢 [illegible] 山人 [illegible]
[illegible] 書 [illegible] 光 [illegible] 金 [illegible]
[illegible] 山 [illegible] 引
を [illegible] 裁 [illegible]
[illegible]
[illegible] 人の [illegible] 夢
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 書 [illegible]
[illegible] 日 [illegible]
[illegible] 乃可 [illegible] 矣 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 哉 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

遠ざかる雲の思ひぞ悔しきまでとよめるは
夢ぢ迄雲の隔てのよ新古今にもよめり
されば世にしたがひ及ばざるを云
しづめや
かやうの小技藝だ
もしかの世にあらば源氏の中物語も
世にやうやうあり源氏の中物語も
ひめうさまに紫式部とよせて
そのやうにめづらしと
しも未だあらずとて
かやうの小技藝だ
世にしたがひ及ばざるを云
しづめや
もしかの世にあらば源氏の中物語も
世にやうやうあり源氏の中物語も
ひめうさまに紫式部とよせて
そのやうにめづらしと
しも未だあらずとて

あるやうにもを引出してかうも
ゆるす
法師の　さとよ院法の御(ギ)ゆるす法
をやめく花をうこ院法(ヒウセツホウ)の事ゆ西面
白しとしてはあるを定(サダ)めはしくこそ
であるこそ世間の人の年毎に
人をどもこそさ海くよりひ合せる事あ
るへし(コヒ)ゆ世にあるべきさ海人乃上ゆ
ゆあらさ海るゆ凡ひあ海をとるたこそ源
氏乃時代よりあるへきみるへきこゆ
ゆも今の世に合せみまほし虚妄のやう

おもふ人のこゝろ部つゝ人無の心ゆよりん
よりて凡骨をもつて養年の起(オキ)をもせ
ど移もせぐ和とゝ人のこゝろ
きんゝよ水うゝくゝめやゝさうかく
ひ物語とゝんるゝ物よゝ紙をゝゝ
ゝんるゝへゝ物り
ゝゝゝ

おいらう　あるこう
数ゑ　いまぐ女ゑ　ゑ
こゑ方をこゑ　こゑ
教えてくゆる　あるこうゑ
ゑんよ　おさめら
ふよおさ　もるゑ
ひ女ひめう
ゑをこう　ゑのる
ゑをゑ
ゑめう　ゑぐめ
ゑこう　ゑ

ゑこう　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ
ゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

と入さる給(まま)やうせごるるへ
おぼしのすること　ふ
ひるあるあるあるひ　儿丁(キチウ)や
こうひるるるや　ろれと今乗るぞや
と行程や
さるもしたるんをとるるて　さるもしぐこ
そるるれたひい程るもそ
さしいこい　めるこ
おやるるよひよるるん海ろるるや
四もるる女房るるる云ふ行しも今乗親
ひるるへ出るるるれ云へ船を乗るる親

やるんるるよめるるる今乗をへ海ろ行
るるるそるれ云へ行給ると云ふ不審
ひるるるる　すくるる(イ)るるるるるる程
行ひたんるれ行るるるるるれるるみ
るるるるるるるるるるるるるるるや
るるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるよ
るるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるる
年月るるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるる

みぎるまつるもとゝるり

ちるへらさぬ浦のうちも　二ふあうるのどん

ふれどうるるぐ新蒙ぐ紙て表ぐよ

綱へくるもや

ちうゝとてゝん扱をうへ　如乃ゝ稚ん扱

ゝ紙ちゝ

ゝもゝさもせとゝあつひさとうさん　あわ

ゝ紙くゝもせどうゝどゝをうを

ゝうゝん芝ぐうるゝるとうさせんと

ゝもせあん新もせどゝうさ海ゝうさし

ゝめゝ芝ぐゝうゝるあうと

ひゝゝぶまゝうゝ紙乃ゝうゝゝゝ芝ぐて

ひうゝあゝゝ新ゝるんあわゝゝ紙ゝう

芝ゝゝん芝ゝ芝ゝ波ゝ芝男乃ゝるゝ

ゝうゝ紙芝ゝゝ芝ゝゝゝ芝ゝゝゝ

芝乃海乃流も扱芝ぐゝ紙芝ゝ

芝ゝ

ゝゝゝゝ芝ゝゝゝゝゝゝ芝ぐ

ゝゝゝゝ芝ゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ものゝ四郎の歌

乃乃ゝ書のあとの
ゝ久あのゝと絵さを書
ゝ乃ゝ乃ゝ
ゝ乃ゝ絵ゝ
ゝ四郎ゝ
ゝ

ゝ花の葉

ゝ化乃ゝ
ゝ花の葉
ゝ
ゝ

ゝ花枝の紅葉

ゝ年ゝて花
ゝ葉ゝ
ゝ絵ゝ
ゝ人の
ゝ

ゝ中ゝ
ゝ花ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

ゝ

ゝ

ゝ

ゝ

ゝ

ゝ

ゝ

ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

選と被引ける歌 　　四条中納言

うゑぬる和琴を

弾のこゑ〳〵　　花ちる井も徒の名のみ

弾ならす秋と聞〳〵ば　　陰ぬる時ぞ人の恋

なる所をとはれて　　ぬれぬる袖の名のみ

なるへし

いまはあさましの

和琴のことや

庭の面の葉ぬる　　秋ならぬ面の葉ぬる

ぬるの葉ぬる

ぬるの葉ぬる　　ぬる書や

弾ならす　　ぬる朝ぬるぬる秋霧分て

ぬる所のあんぬ　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

弾ぬる程ぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

面の面の葉ぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

ぬるぬるぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

ぬるぬるぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

琴の弾ぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

ぬるぬるぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

ぬるぬるぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

ぬるぬるぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

葉ぬるぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

ぬるぬるぬる　　ぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬるぬる

人間ちかくさかえつゝ家のうちを
ろうさるらはまと申奉るなり
ちうもとへさんへ　ちうれうもとや
本物は決めるもん　家のうちを別よ
紙入めるへしとゝめるなら文よりつま
まるさんをはうへんよりてまを敷
あしでちうりとゝしへちうとのもとな
業とるまを
あちうまるなもちて　女のうちう
ちうもとなるなら　ゆうておくちう
かめちうちうよりあしとゝ　一ちどまるちう

てゝまをけまとゝ
しめはかゝれうちうら　けとゝちんうち
らひんまちうちうちうまるゝ
ちうかゝんまるのあとゝうより申奉ちうか
の差別ゝ和ちうまるとちうばんゝ
ばちうりのうちを　ちうちけちうへに落ちひ
しよりて今ちうかゝるまるとゝ
ばんのまちうよ　以中ちうの匹ゝのちう
ちうちうのあるぶちうるのちうとおも
しちうおはしめちうあちゝ
萩の家玉藻のあちれ　引ちうよ不平

及兵あるべきなるべ
へうする　ひとびとよりそむく
今七とせあまり　うち源氏にしたがふこと七
年にもあまり乃兵とゝ武兵七いせ大数
とあまたゝび今もちと年もをもりてゝ
ゝ
ゝ
いかゝよはきをそも　源氏乃流ふるまひ
おいたゝきとゝくおりまもとゝ
ゝ
ゝ　もとゝ中ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

中ゝ
まゝ
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くもとしらん

山下陰相撲（ヤマシタカゲスマウ）をよめる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三史文經

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九日の夕方に
いと深き霧
霧とりけの煙りとともにいつくにか
さるやうくうおけ[illegible]ふづくるを
見るに河原をはしりまくあるく人
袈裟をかたの[illegible]に掛(カケ)たる法師
の高氣せるる感襲と書もこしあるかわ
変りやうぶるいうる秀逸(シウイツ)
やうこと出てへるへし
さるにてもものはうらまに掛よ[illegible]へい
ものとうこうひるひあと

[illegible]
うく沙面産ふ[illegible]をくまこよりんこ行りの
よまん人へ歌下句云云
[illegible]のうるよ[illegible]
[illegible]白と切角
さてもおぼ[illegible]
の白よりふ[illegible]の撓(ケイン)をか
刺とへるるよ[illegible]
とうへさ[illegible]
人のふ[illegible]
うへるやと[illegible]
[illegible]
[illegible]

とのゐ人へ遣す歌

[illegible]ん　[illegible]の朝臣

[illegible]

[illegible]源氏[illegible]人

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中納言[illegible]中納言

[illegible]

[illegible]

源の[illegible]

[illegible]

[illegible]

二条院　花ゝの河の海ゝの波せゝらん行ゝ
かゝまくゝも流れ出ぬ岩ぬまゝりて用
流れて花ゝの義ゝ上ゝ
いとゝまやゝゝゝゝゝ　義忠朝臣
いやゝゝゝゝゝ　ひまなくよ出るゝて
ゝゝゝゝゝ
中河　花ゝの業花ゝ如ゝ
中河ゝゝゝゝゝゝゝ
桂河の中央ゝゝ中河ゝ
ゝゝゝゝゝ　源氏の親ゝ門ゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ

無ひゝゝゝ河ゝゝ　源氏の人ゝの
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ

らんかとぬしこそ
きたるなりけれ
人もとらせぬ
うきたるなり

おとこよも　ある
るまるるなるよるるま
かくゑよ　紀ちく
風源しるて

しるるは時節を
月とあわぬ世の
月とあるなれ

紀ちるうちの人をは
おとこよもや
ゑ
しるるは時節の
月をもるまるは
月とあるとあれ

紀よみ月の来たるうへ
人〳〵　ほとゝぎすの人〳〵や
あるうもさかふ　ほとゝぎす
あるべきさかふ　風源のよ
孤よりあるまるあるまるあるまるあ
あるうて紀ちるるよひ朝ぬるら
うの中の月よりる出く　月の月をめ
よ中の月よりぞ色さどまやと
ちく人の月ようげらひくおとこ
るをひの月あるさき秋源の流らん
しておかしめ合ちる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

し物とく書出て行かへりあり法
師のもとへ詠歌ひきれば和歌乃格
法ゆゑなく　　源氏乃ちかく
ものと正行よりも和歌さうし
くりのうさかまきしるしひさあつまくらの
をもしろ所てるらひとも和乃用ゐ
ぬぐしゐる格ものもあらん
あるものの義やゆゑ
とまり帳　源氏乃和歌や俗ばうの部
和歌乃ものもあるとゝ格をも
うきをしるべきゝ紙大ゝ義ゆゑ

さうれうるにより
せよきんあらびさぐをうか
ゝる今和ゝ義ゆゑ源氏のものふ
ゝ和ゝ
ものとよきんとも　　ひとの和とゝ行
よきんとゝるゝ義ゆゑもあるとゝ紀と
云るゝ
きゝ法ゝのおもゝふ　　源氏も俗ゝ
和歌ゝ
あるものゝ　紀るゝ乃ものや
いよゝものをゝ　　をゝ紀乃ものゝ

十二三ばかりなる　　元良親王の御子なり

新勅撰の詞書　　元良親王の文や

あるらんや　　源氏の詞や

きうしの　　まゐりうづの御ぶみ　　なりけるや

物思ひやまとことばにかなふ　　この朝臣よ

つまこひやまゐりうづの人を思ひかねたるなり

投入詞　　繼母なりさめしたる詞ゆゑ紀

なるのもりに母うせにしかばなり

わくらばに　　姓氏日記

さるん　　紀ちう詞や

みをなる紀詞　　源氏詞

文仕へより出

出さんとやせしとも思ふよりあるまし

なるわがとこ　　文仕へより出

そ春のなるやう　　文をば文仕よ

ふいよりて　　紀ちう

女のもとせ　　世なる乃定まるなかりも

女て一條ちう　　なるさとちう

いよのもとをて　　源氏乃詞

をとこ　　まうとこのめ

いくらもなる乃　　をとこしてまうとこ

むら源氏乃　　乃詞和ちうなる詞ゆゑ

紙入と云ふ人面白しいろいろ白紙切
てもむ面
ちちちち家ちちちちに
家ふを初くふ茶をする事とやと
かりちち
さりちちちちちちち道　源氏物語
はちちちちち　紀ちちちち伊ふ若
ちちをちちちちの所ちちちちじ面白
ちちち
おちちちちんやい　紀ちちちちちもの
ちちちじ伊ちん紙じゆちちと

源氏の所ちちちち
紀ちち物ちちちちちち雑ザツ
金ちちちちち
ちいちちちみく
源氏の作作の人くく
小ちちや
ちちちはちちちち
ちをちちち
ちちちちち
ちちちちちちちち
ちちちちちちちち
ちちち

やまるまで

いとくみうしひ　　ふるとと　ゑとと　声紙

似ることと

いとうと　　姉なとも　姉とと　云へ　系留　ゑと

よとも　姉　ゑまと　ととも　ゑまと　ゑとも　ゑとと　ゑと　ゑと

ほう　野　ゑ　花　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ

ひさうよそ　　ふゑう　親　ゑ　花　ゑ　ゑ　房

ゑと　乃　親　ゑ　云　ゑ　ゑ　ゑ

ゑに　ゑ　ほう　　源氏　乃　ゑ　ゑ　ふゑの　紙

ふ　ゑ　ゑ

ひるゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　　ゑ　ゑ　ゑ　親　ゑ

ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　

乃安房の公殿乃ゆ
うへ乃きぬを
ゆめ清ら　源氏や
中将やとゝ
中将めいつまて　源氏前斎宮中将や
中将の君こゝ
ゆひ一種よりの
ゆめ清ら　源氏乃朝臣
うちつけに
うちつけ
あるこゝ年月乃
今秋まて

の
あさまし
ゆめ清ら　源乃朝や
中将こゝ
ゆめ清ら
しへ
あとの
ゆ
ゆ中将
ゆ中将
源氏りこゝ
うゑ
とゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の一生涯は[illegible]
[illegible]
[illegible]

とこなつ

えらこうのはのて　源氏のこゑや
世のもとゝ　かゝやくひかりのうまれさるより
ゝゝめぐりあひもうれしきとんじゆ中ゝわ
ざやこゝろせはゝ
ゝるもたゝしく　嘺(ナク)帰(ヒ)よ　花ちるも
なのこゝろとまるこゝろよりゝるもこゝろ
とまるゝ　何　数(カ)ゝるあまこゝびゝ
なのこゝろ
はまこゝるこゝ　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
てゝゝゝゝ源氏ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
世ゝゝ　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

琴云

あやめくさ　ゆふ　事

とまりつるさぶらひ　ぶ　ぶ

桐坂のうを教つこうつ

かくこそ為てくはしくはる雲乃はしくもあるか

はるかのうんこうこうこう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てのこゝろをうけたまはりてのち
うるはしくとゝのへてまゐらせ
紀ちの別当のもとへ
さゝげつかはす　紀ちの朝臣
新のをさく　京極の父ゝ父仕よ
とゝうたひしよりてゝ父仕の書
ふゝかうゝゆうのやゝ
めとゝまりのうや　源の朝臣
きゝうけたまはる　紀ちの朝臣
めゝくゝん　此人　うまきゝん
せのゝめとひ　徒然ゝちうづうるゝゝ

とゝへあまきゝ
めゝいまゝく　小ゝ弟源の宰相
ゝふゝうり
いゝうゝの　京極殿の
どゝも妹ゝゝうの　ゝあるれ
ゝゝゝといゝゝく　ゝうゝゝよりみゝう
やゝよゝゝゝ　うゝゝゝゝ
ゝひのゝゝれと
此ゝんゝゝゝへどゝう　花ゝゝ小ゝ
りゝゝゝんゝゝ　ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ

ことづてをやる

いとおほくて

ふみ一巻をとりあつめて

ある秋　一条殿

まん巻よりもりんてとりあつめたまへる

ふんぬきとくせ

文殿のふり給へる

久保氏のうめ

ちかよりの

かすえ殿の

うちつぎて

ふみ

ふんやきうめ

京極のうめ

ふみよの

京極のうめ

ふみ

ふんやきうめ

ふみ

京極の殿

ふみ

ふんやきうめ

ふみ

ふんやきうめ

ふみ

ふんやきうめ

ひとびとよりあひのまくばり
もとゝ来伊るゝ人のたまゝ
伊るもの
うゝとぬのゝ人をゝ
ふたゝゝの中や
さゝやあるまきん
紫末羽(テウゾウ)すゝ
もゝ酒ゝきゝの
夏酒の夏節もの
れとゝろゝ
ゝもゝや
かゝのゝるゝ酒ゝ
夏酒ゝ
夏ゝ
ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明算本卷二

為ることと云云

終十二